

別記第7号様式(第15条関係)

平成28年度電源立地地域対策交付金事業評価報告書

平成29年2月23日

北海道知事 高橋 はるみ 殿

住所 礼文町大字香深村字トシナイ
氏名 礼文町長 小野 徹

平成28年7月27日付け環エネ第836号指令をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金に係る交付金事業の成果の評価について、北海道電源立地地域対策交付金等交付要綱第15条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補 修又は維持運営等措置	小学校維持管理事業	礼文町	253,868	100,000	

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	小学校維持管理事業
	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	礼文町
	交付金事業実施場所	礼文町大字香深村字トンスナイ ほか2件
	交付金事業の概要	健全な学校運営等のため、本交付金を小学校の維持管理費に充当し、教育環境の向上を図ります。 (町内小学校3校の電気料金1ヶ月分)
	総事業費	交付金充当額 うち文部科学省分 100,000 うち経済産業省分 0 100,000
	交付金事業の成果目標	当該小学校は、離島という立地上、学習塾や稽古事の融通が利かない町でありながら、熱意ある教師の方々の努力もあって、成績優秀者や島外への進学者を多く輩出しています。また、島自体を教材としたカリキュラムや小中高の各校が一環となった授業など、礼文島ならではの授業は、保護者や町民からも好評で存続が望まれています。礼文町は少子化、過疎化の影響を受け、小学校の数は減っており、学校の運営にかかる予算も余裕がありません。とは言えない状況が続いているため、本交付金を小学校の維持管理費に充当する事により、健全な学校運営と授業展開を図り、ひいては発電用施設の設置及び運転の円滑化のため、地域の理解を促進していく事とします。
	交付金事業の成果指標	町内小学校3校1ヶ月間の健全な学校運営と授業展開を行う。
	交付金事業の成果及び評価	本交付金の活用により、町内小学校3校(9月時点:児童110名、教員32名、職員3名、計145名)1ヶ月間の健全な学校運営と授業展開を行った。今後も引き続き交付金を活用する事で、教育環境の向上を図り、地域の理解促進に繋げていく予定です。
	契約の目的	契約の相手方
	小学校維持管理事業	随意契約(競争性無し) 北海道電力株式会社
		契約金額 253,868
	成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無
	計	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度 H33 253,868

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。
(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。
(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用率並びに効果等を用いて記載すること。
(6) 交付金事業の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じて欄を設けること。
(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用する有無の欄については、第三者機関等を活用した場合及び構成員等を記載すること。